

# ひめまつ

73



宇都宮短期大学附属高等学校生徒会

ひめまつ  
目次  
第七十三号

表紙……長田 桃歩  
題字……石川 木魚  
校歌  
生活目標

グラフ  
「学園の四季」  
「写真部作品」

論説

AIとIOT時代の職業選択……………校長 須賀英之 ……1

特集

宇都宮短期大学に食物栄養学科が新設！……………4

GTECおよびClassiの導入について……………4

世界にはばたけ、若き音楽家たち……………5

トピックス……………7

サッカー部・体操部・スポーツチャンバラ部・ソフトテニス部・囲碁将棋部・  
弁論大会・いちご王国・きのこ料理・エプロン寄贈

声 須賀学園

2019

宇短附の魅力と昼食編

.....

究極のランチ

はじめての学食

特別な日

私のオススメ

私たちの原動力

一年

一年

二年

二年

三年

六組

十組

四組

八組

一組

若松

吉光寺

渡邊

小松

鈴木

麻希

未帆

彩香

美月

麻衣香

平成三十年度 校内読書感想文コンクール入賞者

.....

心に強く響くもの

校内読書感想文コンクール入賞作品

.....

【第三学年の部】校長賞

第一位 吉野 源三郎 著「君たちはどう生きるか」を読んで

第二位 神西 清 著「少年」を読んで

第三位 太宰 治 著「人間失格」を読んで

三年

三年

三年

二組

三組

一組

内海

三塚

高橋

和音

菜穂

拓紀

【第二学年の部】校長賞

第一位 辻村 深月 著「ツナグ」を読んで

第二位 湊 かなえ 著「未来」を読んで

第三位 ダニエル・キイス 著「アルジャーノンに花束を」を読んで

二年

二年

二年

一組

六組

十三組

加藤

西本

松本

映見

果恋

開渡

【第一学年の部】校長賞

第一位 有川 浩 著「レインツリーの国」を読んで

第二位 重松 清 著「その日のまえに」を読んで

第三位 森見 登美彦 著「夜は短し歩けよ乙女」を読んで

一年

一年

一年

二組

一組

四組

中野

北川

齋藤

杏梨

真帆

みすず

各種コンクール入賞作品

【宇都宮税務署「高校生の税に関する作文」】

宇都宮税務署管内租税教育推進協議会協議会長賞

二年 一組 野阪 成実

【第五十五回栃木県高等学校国際理解弁論大会】

最優秀賞

一年 六組 阿賀 愛紗

あとらんだむ 生徒作品集

【一年間の反省と二年生になる抱負】

旧・一年 一組 山路 茉実

旧・一年 三組 石野 響子

旧・一年 八組 細田 陽彩乃

旧・一年二十一組 菊池 颯

旧・一年二十四組 荒井 悠里

旧・一年二十五組 廣田 修一

【二年間の反省と最上級生になる抱負】

旧・二年 二組 高野 幹奈

旧・二年 二組 森 太郎

旧・二年 四組 車田 佳紀

旧・二年 十五組 橋本 純弥

旧・二年 十八組 大森 ねね

【随想】

所有する愛と自由な愛

三年 六組 五味淵 寛太

昼ドラのような作文

三年 六組 駒場 弥夢

## 旅行記

### 【京都研修旅行】

私たちは「世界一幸せな高校生」を実感することができました。

### 【修学旅行】

修学旅行に参加して  
繁栄の裏に

### 【一日旅行】

一生に一度の思い出

一日旅行

迫力と友情

青空の下の思い出

最高の思い出

未来に思いを馳せた一日旅行

雨上がりに始まる驚きの日

笑顔の連鎖

私達の『絆』

私たち二年生の最後の一日旅行

二年二十三組

福岡

朱音

二年 一組

中川

夏凜

二年 二組

後藤

舞弥

一年 二組

中屋

美咲

一年 六組

若松

麻希

一年 十五組

金井

ゆめの

一年二十四組

小島

佳乃

一年二十五組

川田

美遥

二年 二組

辻

明希

二年 五組

石野

響子

二年 八組

小松

美月

二年 十九組

小池

陽菜子

二年二十二組

毛塚

亜美

## わがホームルームの紹介

三年・二年・一年

## 委員会・部活動報告

風紀交通安全・図書・美化・茶道・華道・書道・理科・服飾手芸・囲碁将棋・弓道・演劇・写真・吹奏楽・合唱・硬式野球・女子サッカー・男子サッカー・卓球・水泳・女子バレー・男子バレー・男女硬式テニス・男子ソフトテニス・女子ソフトテニス・バドミントン・男子バスケット・女子バスケット・柔道・剣道・スポーツチャンバラ・応援団・チャダンス・JRC・インターアクトクラブ・百人一首・デイベート・パティシエ・軽音楽・イラスト・陸上競技・日本音楽

附属中コーナー ..... 89

この一年間のおもな活躍・クラス紹介・行事紹介・作品集 コンクール入賞作品・校内読書感想文コンクール  
入賞作品・一年間の反省と進級にあたっての抱負・写真で見る中学校生活・部活動紹介・立志式記念講演

宇都宮共和国・宇都宮短期大学コーナー ..... 116

宇都宮共和国／シテイライフ学部 子ども生活学部  
イベント・トピックス・在校生メッセージ・就学支援・スカラシップ  
宇都宮短期大学／音楽科・人間福祉学科

教育実習生、母校の教壇に ..... 129

英語／日本大学 田中 真理奈 中山 茂幸  
音楽／桐朋音楽大学 ペトロヴァ

平成三十年度生徒会報告 ..... 132

主な大学合格者数一覧(平成二十四年三月～平成三十年三月) ..... 138

主な就職内定状況(平成三十年度) ..... 139

編集後記 ..... 140  
編集委員長・羽石 智咲

校史と校章



準特選 『"Twist and Shout"』 2年1組 水沼 愛実

# 写真部 作品

第40回栃木県高等学校総合文化祭で学校賞を受賞した写真部の入選作品です。



入選 『Cornering』 2年5組 矢田 正成



入選 『和と光のハーモニー』 1年4組 関根 千聖



準特選 『疾走』 1年19組 沼尾 柊



入選 『人の歩み』 1年2組 星野 桃加



奨励賞 『二十彩』  
2年5組 蛭牟田 慶人



奨励賞 『仲夏に芽吹く生命』 1年8組 伊佐岡 徳真



奨励賞 『水の鼓動』 1年4組 関根 千聖



奨励賞 『石畳』 1年4組 高久 心愛

本格的な冬を前に、2年生は修学旅行に出発。現地では、12月とは思えない温暖な気候の中、さまざまな体験を通し、友情を深めてきました。

# 修学旅行 in 沖縄 H30.12



美ら海水族館



沖縄の青い海



郷土料理



首里城



サトウキビの収穫



イノー観察



世界遺産首里城をバックに!



サンシン



牧志公設市場



楽しかった班別行動

おきなわワールド



創立  
118周年記念  
学校祭  
11月

## Variety of Colors ~多彩~

須賀学園創立118周年を記念した中学・高校合同の学校祭が11月3日に大勢のお客様をお迎えし、本学園教育会館と須賀栄子記念講堂大ホールにて盛大に行われました。

各科・各クラス・各部ごとに日頃の勉強や練習の成果を披露するとともに、絆を深める1日となったようです。



模擬店のにぎわい



チアダンス部(野外ステージ)



生活教養科(野外ステージ)



吹奏楽演奏会(須賀栄子記念講堂大ホール)



生活教養科(須賀栄子記念講堂大ホール)



調理科(教育会館) 音楽科によるオペレッタ上演(須賀栄子記念講堂大ホール)



入学式  
4月

新入生～高校生活のはじまり～



誓いの言葉  
～期待に胸が膨らみます～

# 学園の 四季



バスケットボール



スポーツ  
フェスティバル  
6月

バレーボール



卓球



バレーボール



サッカー

合唱  
コンクール  
7月



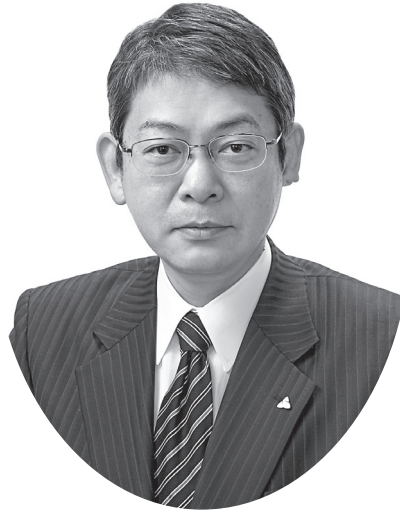
第52回校内合唱コンクール



美しいハーモニー

## 論説

# AIとIOT時代の職業選択



校長 須賀英之

### 人手不足の現状

東京オリンピックを来年に控え、国内景気が堅調に推移していることから、人手不足が深刻な問題となっています。昨年末の東京都の有効求人倍率（求人数／求職者数）は二・一五倍と極めて高い水準にあります。もちろん、その背景は少子高齢化です。日本の生産年齢人口（十五～六十四歳）は、一九九七年

八六九万人をピークに、二〇一五年は七六六五万人と一〇〇万人以上減少しており、皆さんが社会の中核で活躍している二〇五〇年には五〇〇〇万人を下回ることが確実です。人手不足は構造的な問題であり、皆さんにとっては、ある意味で恵まれた環境にあるとも言えます。

こうした人手不足を改善するためには、働く女性への支援、高齢者の継続雇用、外国人労働者の流入の規制緩和など総合的な施策が必要ですが、最も効果があることは、AI（Artificial Intelligence 人口知能）やIOT（Internet of Things）の活用による生産性の向上です。

### AIとIOTの進歩による省力化

米国でグラハム・ベルが電話を発明して大衆に普及しはじめた一八九〇年代当時、このままでは電話交換手が大量に不足す

るといふ心配がありました。自動電話交換機の出現により、電話交換という仕事そのものが無くなりました。日本でコンピュータが企業に導入されはじめた一九六〇年代にはソフトウェア技術者の不足が懸念されましたが、汎用パッケージソフトが開発され、いわゆる「ソフトウェア・クライシス」は回避されました。

近年、国内線の航空会社カウンターでは、荷物預りも含めてチェックインが自動化されていますし、国際線の入国審査もパスポートの自動読み取りや顔・指紋認証により人手を介さないようになりました。大手金融機関はコールセンターを中国の大連市に置いて、AIを駆使して日本人顧客に対応しています。

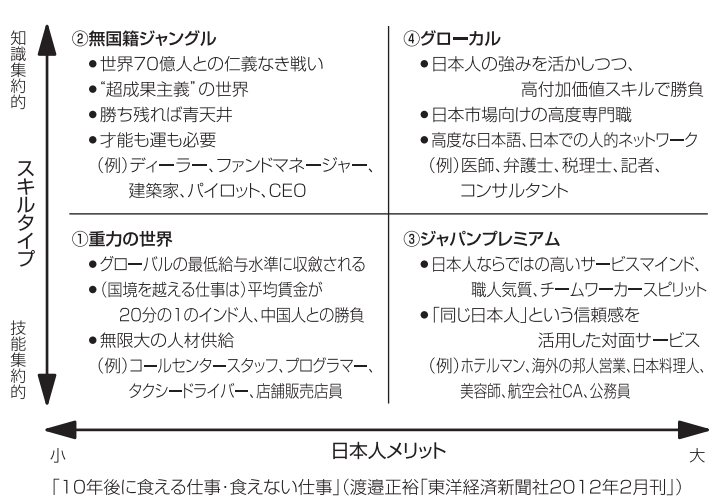
来年度から本校生徒の身分証明書はnanaco付きのICカードに変わり、校内の売店や自動販売機はキャッシュレスで利用できるようになります。生徒手帳を携行しなくてもホームページから閲覧できるようになり、保護者からの欠席連絡もスマートフォンで簡単に職員室のプリンターへ送信できるようになりました。

## グローバル時代の職業マップ

今後このような技術革新がグローバルに進んでいくため、皆さんが職業を選択する際には、こうした社会の変化を見通して考えなくてはなりません。

日本経済新聞の元記者でジャーナリストの渡邊正裕氏は、様々な職業を、「日本人であるメリットを生かせるか」を横軸に、「必要となるスキルが技能集約（ブルーカラー）か知識集約（ホワイトカラー）か」を縦軸にとつて分類しています。

①は、日本人としてのメリットが無く、高いスキルも必要としない職業とされ、今後、外国人に取って代わられ、それに比例して賃金が重力のように引き下げられます。コンビニのアル



バイト店員を想像すればわかります。無人のレジや自動運転などに代替され、仕事そのものが無くなってしまいうこともあります。

②は、IT人材のように海外勢との競争が激しい世界で、日本人で生き残れるのは一握りだけです。スポーツ選手やアーティスト、グーグルやアマゾンと楽天やDeNAが競っている分野です。

③は、少子化で市場自体は狭くなっていくものの、日本人が行うサービスとして生き残っていく職業です。ホテルのコンシェルジュや寿司職人など、専門的な対人サービスやチームワークの力が必要な分野です。

④は、日本人であるメリットを生かして、付加価値の高いスキルを身につけて、外国人やコンピュータによる自動化にあまり影響されない医師・弁護士・建築士・教師など、多くは国家資格が必要な分野です。

## 科学技術の力を活用して創造的な仕事を

国勢調査の職業分類により各分野の職業についている人口割

合を計算すると、①重力の世界七二・五%、②無国籍ジャングル三・〇%、③ジャパンプレミアム一六・三%、④グローバル五・五%だそうです。

皆さんの志望する職業は、どの分野にあたるかを考えてみてください。付加価値が高くグローバル化に対応できる知識・技能を身に付け、資格や検定を取得して、②④の分野を選択する必要があります。皆さんには、将来、AIやIOTに取って代わられる仕事ではなく、そうした技術の助けを借りて創造的な仕事で活躍することを願っています。電気通信大学の坂本教授は、AIに代わられてしまう仕事とすぐには代わられない仕事を次のように分類していますので参考に見てみてください。

#### 一 人工知能に代わられてしまう仕事

- (一) ユーザーにサービスを提供する仕事  
(コールセンター、電話販売)
- (二) 情報を扱う仕事  
(調査・データ解析、金融・保険)
- (三) 正確さが求められる仕事  
(輸送・物流、スポーツ審判)

#### 二 人工知能にすぐには代わらない仕事

- (一) 身体を通して行う仕事  
(外科医・歯科医、エステティシャン、料理人や栄養士)
- (二) クリエイティブな仕事  
(振付師、小説家、作詞・作曲家)
- (三) 人の心を気遣う仕事  
(心理療法士・カウンセラー、教師・保育士、心理学者)
- (四) 判断と責任が伴う仕事  
(責任者・監督者)

「人工知能時代の就職活動」(坂本真樹「エクシア出版二〇一七年八月刊」)

### 人間にしかできないこと

IBMが開発したAIの「シェフ・ワトソン(同社では人工知能を「コグニティブ・システム」と呼んでいます)」は、プロが作った膨大な料理のレシピを機械学習により整理して、人間がキーワード(味、材料、調理法、その日の気分、体調等)を入れると、これに合った独創的なレシピを提案することができず。つまり、シェフや栄養士の仕事に大いに役立つのです。しかし、料理を提供する相手がそのメニューを望むかどうかを最終的に判断して実行するのは人間です。

IBMの第二代社長トーマス・ワトソン・Jr.によれば、「IBMのマシンは、使用する人間が持つ能力を拡張するツールに過ぎない」とのことです。坂本教授は、人工知能では出来ずに人間にしかできないことは、「体験を通じて仕事に生かす、五感を使って空気を読む、コミュニケーションで人を動かすこと」と述べています。

この春には、政府の教育再生実行会議が提言を取りまとめる予定ですが、その中に、「技術の進展に応じた教育の革新 | Society 5.0で求められる力と教育の在り方」が柱として掲げられています。本校では、建学の精神である全人教育(人間形成の教育)のもと、新しい時代のニーズを先取りした教育内容に積極的に取り組んでいます。生徒の皆さんには、広く世界と技術の進化を見据えて、自らを磨き、励まし合って優れた個性・能力・特質をさらに高めていくことを期待しています。

# 特集

## 宇都宮短期大学に食物栄養学科が新設！ (2019年度栄養士養成施設指定申請中)

食生活は、単に栄養を摂取する、健康を維持・増進するだけでなく、子どもの時から家族や仲間と供食することで人間性を育てるという大切な役割を持ちます。

宇都宮短期大学では、地域社会の食育・栄養指導と食文化を担う優秀な人材を養成することを目的として、二〇一九年度に食物栄養学科を新設します。栄養士として将来の活躍を希望する専門分野に合わせた三つの履修モデルを設定し、実践的カリキュラムにより、様々な食の現場で活躍することを目指します。



### 専門教育科目(3つの履修モデル)

調理技術とフードデザインの向上を目指す	子どもの食育、高齢者・障がい者への食の支援を目指す	栄養士に加え、管理栄養士を目指す
調理技術と食物・栄養に関する知識を高め、ホテル、レストランや食関係の企業等で活躍するためのモデルです。	子どもや高齢者・障がい者等を対象とした栄養指導ができ、児童福祉施設や高齢者福祉施設、訪問栄養士、医療機関等で活躍するためのモデルです。	栄養士として3年間の実務経験を経て、管理栄養士の受験資格が取得できます。在学時から管理栄養士資格取得を目指して、学びを深めるためのモデルです。

### 主な就職先

- |   |   |  |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● ホテル</li> <li>● レストラン</li> <li>● 病院</li> <li>● 学校給食</li> <li>● 一般企業社員食堂</li> <li>● 食品メーカー</li> <li>● スーパー</li> <li>● コンビニ等</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 病院</li> <li>● 高齢者福祉施設</li> <li>● 児童福祉施設</li> <li>● 訪問栄養士</li> <li>● 学校給食等</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 病院</li> <li>● 行政</li> <li>● 高齢者福祉施設</li> <li>● 児童福祉施設</li> <li>● 学校給食等</li> </ul> |
|---|---|--|

## GTEC および Classiの導入について

高大接続システム改革に基づき、二〇二〇年度より大学入学共通テストが導入されます。それにとまない、学力の三要素（知識・技能）「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」や英語四技能（Reading, Writing, Listening, Speaking）などが重視されるとともに、さまざまな能力が多面的・総合的に評価されることとなります。

本校においては、生徒自らが学校生活をポートフォリオ（活動履歴）として記録し、学習や校内外テスト結果を加えて情報を一元的に管理・共有できるClassi（ベネッセ）の学習履歴システムを全生徒に導入しました。また、GTEC技能検定を六月に実施。これは、英語コミュニケーション能力が四技能に即して幅広く評価されるもので、二〇二〇年度より導入される大学入学共通テストでも認定を受けているものです。

新しいシステム・学習アイテムの採用により、今後も進路指導および学習支援体制のいっそうの充実をはかっていきます。



## 世界にはばたけ、若き音楽家たち

### 〈東京藝大に三人合格〉

昨年三月、約九五〇名の卒業生がそれぞれの目指す夢に向かって、本校を巣立っていきました。東京藝大には三人が合格。四月から上野の緑豊かなキャンパスで藝大ライフを送っています。

今春、藝大に合格したのは音楽科卒業生の萩原ももこさん（オーボエ）、関口輝美さん（声楽）、そして普通科の坂寄奏太君（声楽）。今回は坂寄君に藝大での様子や将来の目標についてうかがいました。

――坂寄君は普通科特別選抜コースの卒業生ですが、なぜ音楽科ではなく普通科を志望したのですか？

坂寄 中学を卒業する際には、音楽の道に進もうとは思っていませんでした。理系進学を希望していました。

――では、いつ頃から音楽の道に進もうと考え始めたのですか。

坂寄 藝大を目指そうと思いはじめたのは一年生の夏ぐらいです。「将



坂寄

来毎日同じところで同じことをしたくないなあ」と。私は親の影響もあり、小さいころから音楽に親しんできましたので、音楽とともに生きていきたいと思うようになりました。

本格的に藝大を目指す中で、苦労したことはありませんか。

普通科の特選コースにいたので、レッスンとテストとの両立とにかく苦労しました。特に、藝大の試験科目には音楽理論があるのですが、それに向けた勉強が大変でした。

そのような苦勞を乗り越えて、藝大に合格した時の気持ちを教えてください。

藝大の個別入試は一次試験から三次試験まであります。一次と二次は基本の技術が試されるのですが、とても緊張しました。

ただ、二次試験までクリアできれば合格できる可能性が高いと言われているので、三次試験の音楽理論は少しリラックスして受験できたと思います。それでも、合格発表の時には、本当に自分の番号があったのか、なんだか信じられない気持ちで、なかなか「うれしい」という実感は持てませんでした。

同じく藝大に合格した音楽科の二人とは面識があったのですか。

高校時代はありませんでした。でも、今は大学で同じ授業を受

坂寄



けているので親しくなりました。藝大でのキャンパスライフはどうですか。

坂寄

大学自体がとても自由な雰囲気。いろいろな人がいて楽しいですね。音楽科の同級生には男子が十六名いるのですが、その内、四人しか高校の音楽コース出身者はいません。その他は普通科の出身です。西の方から来ている人が多いのも特徴ですかね。とにかく賑やかで、いたるところで歌っている。

講義はどうですか。

坂寄

藝大の授業は実技ばかりという印象があると思うのですが、実は語学の授業がとて多いんです。音楽に必要なイタリア語とドイツ語の他、私はフランスの歌が好きなのでフランス語を学んでいます。

坂寄君は双子の弟さんと鹿沼高校から藝大に合格した楽友君や宇短附の同級生である大野紘平君と一緒に、すでに演奏活動にも熱心に取り組んでいますね。十月のリサイタルには私も伺わせていただきましたが、それぞれの個性が生かされた演奏会でとても楽しかったです。

坂寄

私たちは、チェロを本校音楽科出身の宮田豊先生からご指導いただいてきました。宮田先生は、現在国際的なチェリストとして活躍している宮田大氏のお父様です。宮田先生は理事をお務めになつていらっしゃるザ・メトロポリタンミュージックを通して、栃木県の若手音楽家の育成と音楽事業の普及を志していられつっしゃるのですが、その活動の一環として私たちをコンサートに出演させてくださっているんです。とてもありがたいことです。今後の抱負を教えてください。

坂寄

全国的に見てもクラシックファンが減っています。中でも、栃木県は音楽に対する関心が四七都道府県中、最も低い県とされ



坂寄

ています。そこで、今、行っている演奏活動を継続していくとともに、YouTubeやSNSなどを通して情報を発信していくことが目下の目標です。それと、海外には、例えば午前中にも演奏会があるなど、日本よりもカジュアルに音楽を楽しむ環境があります。一般の人に対するハードルを下げていくことも大切だと思います。

坂寄

音楽を楽しむ上で、何かアドバイスはありますか。名曲集などを聴いてみるというと思いますよ。一度は聴いたことがある曲も入っているはずですよ。CDなどについている解説を読むこともお勧めです。「作曲家のどんな意思が込められているのか」を知ること、曲に対する自分の解釈も深まってくるからです。

坂寄

坂寄君たちの演奏会のプログラムにも曲の解説がありました。文体や内容にその曲を演奏する方それぞれの個性が表れているのをおもしろく感じ、また、曲に対する興味も湧きました。それはうれしいです。

坂寄

最後に宇短附生に一言お願いします。私はチェロから音楽に転向したこともあり、レッスンに手いっぱい、主要五教科（国社数理英）に手が回らないこともありましたが、しかし、一見、音楽と関係ないようにみえても、それぞれにつながりがあることを今は実感しています。どのような分野に進むとしても同じだと思いますので、いわゆる「捨て科目」をつくらずに、バランスよく頑張つてほしいと思います。



画：2年2組 長田 桃歩



# トピックス

## サッカー部 県大会優勝

部員数百七十名という大所帯の本校男子サッカー部。文武両道の実現のために力強く駆けめぐるといふ「ウタンフスタイル」をモットーに、日々の学習や練習に取り組みながら、週末にはカテゴリー別のリーグ戦に出場し、トーナメントの大会でも優秀な成績を取っています。また、選手たちの指導スタッフとして、今年



年は成島明仁先生をコーチにお迎えし、より一層充実した指導のもと練習に励んでいます。創部十八年を迎えた今年、関東高校サッカー大会栃木県予選会優勝という成績を取め、さらなる活躍が期待される男子サッカー部です。

## 体操部・安里透摩君、栃木県高校新人スポーツ大会を制す

十一月十八日(日)、体操の県高校新人スポーツ大会が行われました。

本校からは、今年新設された体操部のメンバーが出場。中でも、普通科一年十一組・安里透摩君が、全種目で二年生を含めた出場選手中トップの得点をマークする圧巻の演技を見せ、個人総合一年優勝の栄冠に輝きました。安里君は、五月の県高校総体や六月の全国高校総体県予選でも優勝するなど、その実力から栃木県体操界の明日を担う選手として期待されています。今回も安里君の総合得点は七十四・六五〇点。これは実に二年生一位の選手の得点を十点近く上回る得点でした。そのような向かうところ敵なしの安里君の目標は「高校在学中に全国のトップになること」。皆で応援しましょう。

2018年(平成30年) 11月19日(月曜日)

下野新聞 栃木県版



下野新聞でも大きく紹介されました。

## スポーツチャンバラ部

### 世界選手権大会優勝!



十二月九日(日)に東京都武蔵野の森総合スポーツプラザで行われた第四十三回世界選手権大会に出場しました。各国から集まった選手との試合を通し、部員たちは多くの経験を積むことができ、学び多い大会となりました。中でも三年二十二組の長谷川大樹君が長剣フリー・二級の部および楯長剣・二級の部の二種目で悲願の優勝を勝ち取りました。今後、多くの大会で実力を発揮できるように日々の練習に励んでまいります。

### 【結果】

- 三年二十二組 長谷川大樹 優勝
- 長剣フリー・二級の部 優勝
- 楯長剣一・二級の部 優勝
- 二年 十六組 小田林裕大 準優勝
- 小太刀一・二級の部 準優勝
- 楯小太刀一・二級の部 準優勝
- 一年 七組 小林 伍騎 三位
- 楯長剣三級以下の部 三位
- 一年二十四組 星 尚陽登 三位
- 両手長剣三級以下の部 三位

## ソフトテニス部



県内外で大活躍のソフトテニス部のインターハイ県予選では、男子団体および個人の三年九組武田寿貴（東那須野中出身）、三年二十組大森柊（日新中出身）ペアがともに二冠となる優勝を果たしました。女子団体も第三位と快挙を成し遂げ、男女個人五ペアと共に本選へ。

九年連続十五回目の出場と絶好調の男子団体は、その後も快進撃を続け、関東大会においては準優勝と華々しい結果を残すことができました。

## 「戦う文化部」囲碁将棋部

清水裕貴君、全国大会へ

「楽しく戦う」をモットーに、日々活動している本校将棋部。十月二十一日・二十二日に行われた「全国高文連新人大会栃木大会」において、本校普通科二年八組の清水裕貴君が準優勝の座に輝き、全国大会への切符を手

に入れました。

清水君は一年次から関東地区高文連栃木県予選で優勝し、関東大会に出場するなど、宇短附将棋部のエース。今年四月の全国高校将棋選手権栃木県予選では第三位入賞、九月の関東地区高文連栃木県予選では第四位となるも、栃木県代表メンバーに選ばれ、十二月の関東大会でも活躍しました。全国大会は一月三十一日から二月二日にかけて岡山県玉野市で行われます。



## 普通科・阿賀愛紗さん、 弁論大会で活躍

普通科一年六組の阿賀愛紗さんが、日本語、英語それぞれの弁論大会に参加し、十月十七日に行われた第五十五回栃木県国際理解弁論大会（日本語）では最優秀賞、十一月十四日に行われた第七十七回栃木県高等学校英語弁論大会では優秀賞（第二位）を受賞しました。日本語の弁論では、今年七月に佐賀県で行われる全国高等学校総合文化祭にも栃木県代表として出場することが決定しています。

二つの大会での発表に共通したテーマは「アフリカの貧困問題」。阿賀さんは「日本で

は自動販売機にスマホをかざすだけで簡単に飲み物が手に入ります。しかし、ケニアのラムで水が得られるのはたった一か所。しかもその水は不衛生極まりないものなのです。救いは、学校に通うことも許されない現地の幼い子供たちが、学校の外に漏れ聞こえてくる先生たちの声を聞きながら一生懸命勉強している姿でした。彼らは自らの手で自分の運命を変えようとしていたのです。そのようなキベラの現状を、先ずは多くの人に知ってもらいたい。」と語っています。

阿賀さんの原稿は、この第七十三号二十六ページでも紹介しています。ぜひ読んでみてください。



## 世界へ発信、栃木のイチゴ 「いちご王国とちぎ」の取り組み

イチゴの収穫量四九年連続日本一。そんな本県において、昨年一月十五日、福田富一県知事により「いちご王国」の設立と一月十五日を「いちご王国・栃木の日」とすることが宣言されました。

今年も一月十五日（火）に王国創立一周年

となるアニバーサリーフェアが開催され、本校生活教養科、調理科、吹奏楽部、パティシエ部の生徒が日頃の練習の成果を発表しました。

また、二〇二〇年には県内有数のイチゴの産地である真岡市で「全国いちごサミット」が行われます。昨年一〇月にはサミットを盛り上げるための



「もおかいちごチアリーダー」三名が任命され、そのユニフォームを本校生活教養科三年のファッション専門分野専攻生徒八名がデザイン・製作しました。ピンクとアイボリーの生地を用い、ケープとフレアスカートのセットアップでふんわりと優しいイメージに仕上げたユニフォームは、「いちごミルク」のデザインコンセプト通りの仕上がりです。

栃木ブランドの美しいイチゴの世界に発信していきます。

## きのこ料理コンクール全国大会へ



県最優秀賞/佐藤さんの「きのこミートパイ」

ら優秀賞（県環境森林部長賞）に選ばれたのは、本校中学二年・門馬澄香さんの「パイ包み しいたけ・マッシュルームチャウダー」。同三年・蓬田晴也君の「しいたけぎょうざ」が奨励賞に選ばれました。また、一般の部五二点の中から、最優秀賞（県知事賞）に本校高校二年生・佐藤湖雪さんの「きのこミートパイ」が、優秀賞（環境森林部長賞）には同三年生・藤木雪乃さんの「きのこたっぷり田舎まんじゅう」が選ばれました。

高校生の佐藤さんと藤木さんは三月に実施される「きのこ料理コンクール全国大会」（日本特用林産振興会主催）に県代表として出場します。

きのこについての正しい知識と料理方法を普及し、消費拡大に資することを目的としたきのこ料理コンクール。その県大会が十月十六日（火）、宇都宮短期大学人間福祉学部調理実習室で行われました。ジュニアの部三〇三点の中

## 届け、まごころつなぐエプロンたち



本校生活教養科では、創立者須賀英子先生の教えの下、「あたたかい心づかい」の実践として、毎年、手作りのエプロンを市内の福祉施設などに寄贈しています。今年も十月十一日（木）に、一年生の近野ふうかさん、下山ひかるさん、土屋青空さんの三人が市役所を来訪し、心を込めて作った幼児用エプロン一〇一枚を贈りました。

同科では、夏休みに保育園等で実習を行わせていたのですが、園児たちが、寄贈したエプロンを身に付けて給食の配せんをしたり、おまごをしたりするなど、喜んで使ってくれている様子が見られるそうです。

この取り組みが開始して以来、今回で三〇年。寄贈したエプロンは累計で三〇〇枚を超えました。「平成の始まり」ともに先輩たちがスタートさせた取り組みを、時代が変わっても後輩たちに引き継いでいきたい。」と近野さんたちは決意しています。



## ◆ ◆ 校史と校章 ◆ ◆

須賀学園は、昨年11月3日で創立118周年の記念日を迎えましたが、一昨年11月15日には宇都宮短期大学創立50周年の記念式典や演奏会、大学祭が開催され、本学園の教育実践の全容を広く内外に示すことができました。

思えば、本学園は、明治33年(1900年)に須賀栄子先生によって創立されました。栄子先生は、女子に最も喫緊な技芸を教授され、その時代と境遇に順応すべき実践的婦人の養成を本学教育の趣旨となし、共和裁縫教習所から明治34年共和裁縫女学校、大正13年宇都宮須賀女学校、昭和7年宇都宮女子高等職業学校と校名を改め、学校を発展させてゆかれました。その後を第2代校長の須賀友正先生が受け継がれ、昭和21年須賀高等女学校、同23年学制改革により宇都宮須賀高等学校と校名変更をし、さらに同42年宇都宮短期大学(音楽科)を新設し、現在の宇都宮短期大学附属高等学校となりました。

その友正先生の後を引き継がれたのが、第3代校長の須賀淳先生(須賀学園理事長)です。先生は、昭和58年宇都宮短期大学附属中学校(中・高6か年一貫教育)を併設され、宇都宮共和大学の開学、宇都宮短期大学の学科増設、須賀学園教育会館および第2グラウンドの新設と、学園を大きく発展されました。

そして、現在、平成27年4月に第4代校長に就任なさった須賀英之先生のもと、第3体育館と硬式野球場が新設されました。また、今年4月には宇都宮短期大学に食物栄養学科が開設されます。

本校の生活目標である「一人は一校を代表する」という言葉(本誌の巻頭を参照)の意味は、本校生徒の一人一人が、それぞれに自らの価値を知り、その価値を自覚して生活することこそ人間の大きな喜びにつながり、幸福への第一歩にもなるというものです。ここには、創立者須賀栄子先生が掲げられた「全人教育(人間形成の教育)」の精神が、100余年かわらずに脈々と生きついています。

また、現在に至るまで、本校にはいくつかの校章がありましたが、現在の校章は、カタカナの「ス」の文字を3個組み合わせ、図案化した須賀家の合印で、その中央に「高」の文字が挿入されています。(合印とは、昔戦場で敵味方が入り乱れて戦うとき、その背に負って、敵か味方かが見分けられるようにしたものです。)これは、須賀家の家系譜からデザインして第2代校長の須賀友正先生が校章と定められたもので、文字は金色、生地は純白色ですっきりとしており、いかにも清潔な感じのする校章です。現校旗と同じ、昭和34年11月3日に、創立60周年記念事業の一環として制定されました。

高文祭写真展 **準特選**



笑顔爛漫  
2年1組 水沼 愛実